

介護マーク普及させよう
厚労省呼び掛け、静岡県が開発

ただいま「介護中」——。

厚生労働省は2011年12月13日、静岡県が開発した「介護マーク」の全国普及に向け、各都道府県に協力を呼び掛けた。マークは、身に着けている人が認知症高齢者の介護中であることを示すもの。

認知症高齢者の介護をしていることは、周囲からは一見して分かりにくい。そのため、男性介護者が認知症女性の介助のために公共施設の女性用トイレに入る時などに、誤解や偏見を招く場合がある。

こういった誤解などの防止に向け、同県は全国に先駆けてマークを作成し、県内で配布していた。ただ、各地で違うデザインのマークを使用すると混乱



を招くため、同県は厚労省に対し、マークの全国普及に向けた協力を要望していた。

(福祉新聞・2557号 2012年1月2日)